

2024 年度自己評価・関係者評価報告書

2025 年 3 月 31 日

学校法人江別キリスト教学園 認定こども園 若葉幼稚園

★本園の保育目標

1. 神の愛を知り、神が共にいてくださることを知る子ども。
2. 神から与えられた命の尊さを知り、命を大切にする子ども。
3. 思いやりの心をもち、友だちにやさしくできる子ども。
4. 美しいものに感動する子ども。
5. 全身を使って、のびのびと遊ぶ子ども。

★保育方針

1. 安心…神様に愛されていること、いつも見守られていることを知る中で、安心感をもつ。
2. 信頼…共に喜び、共に悲しみ、共に感動し、共に生きることを通し、信頼感をもつ。
3. 感謝…神を礼拝し、聖書の言葉を覚え祈ることを通して、生かされ恵みを与えられていることに感謝する心をもつ。

★重点目標

大きく体制が変わる中、キリスト教保育を土台に新たな若葉幼稚園の幼児教育・保育を行う。

★自己評価

	評価項目	取り組み状況
1	保育目標 計画性	・季節感を意識し子どもたちが楽しみ、発見し工夫しながら季節を感じられるよう考え取り組んでいる。 ・ゆとりを持って計画を立て、見通しをもって保育ができるようにしていく。 ・自分の理解が、周囲の理解にはつなげられていないので同じ方向を見て保育することを目指し、職員の理解を得ていく努力をしている。
2	保育・対応	・子どもたちの興味・感心を知り保育を考え遊びが展開できるようにする。 ・常に自分の心にも余裕を持ち、ゆったりと子どもと関わっていかうと思う。 ・一人一人の気持ちに寄り添いながら、その子に応じた適切な関りができるようにする。 ・支援の必要な子に対しての言葉かけ、関わり方について考えた。
3	施設・衛生	・職員みんなで気をつけていけるように取り組んだ。 ・日々あたり前に使っている物も、見直しながら常に安全に配慮した。 ・子どもたちが活動しやすいように整理整頓を心がける。

4	保育者として	・保育者として子どもに寄り添いながら共に喜び、子どものやりたい気持ちをくみ取り保育を行っている。 ・積極的に意見を述べることができるように努力する。 ・保護者への伝達事項、伝えもれがないようにする。 ・職員とコミュニケーションを取りながら連携をはかる。 ・キリスト教保育の学びを継続する。
5	研修・研究	・研修で学んだ事を保育に活かしたい。 ・学びの多い研修が多く与えられた。今後も深く学んでいきたい。 ・研修で学んだことをみんなに共有出来るように伝えていく。

評価結果

2023 年度末に職員との間に契約更新でのトラブル、元理事長のセクハラ問題と大きく揺れた中、今年度は生まれ変わるために職員や PTA 役員の方との話し合いを多く持ち歩みを進めてきました。

新しい体制で手探りの中、進んできた 1 年でした。子どもたちの事を 1 番に思い、できることを職員と共に考え保育にあたってきました。保護者の理解、信用を取り戻すにはまだまだ時間がかかると思われますが常に誠意をもって対応していきたいと考えています。

★関係者評価

年長の保育を参観していただき自己評価をもとに、この 1 年間を振り返っての感想、意見を聞くことができました。

保育参観の感想

- ・子どもたちの自主性を考えた保育、手を出しすぎず子どもたちが考えて行動するのを見守る保育がなされていました。
 - ・子どもたちの一人ひとりの興味、関心が続くような保育、チーム保育の良さを見ることができ、子どもたちにかける言葉がけが優しく丁寧で良かったです。
 - ・礼拝では子どもたちが自分の言葉でお祈りをしていて、子ども自身が神と出会う、向き合う機会ができていたように思いました。
 - ・昨年の大変さを職員の皆さんで乗り越えたことに敬意を表します。これからの若葉幼稚園を応援しています。
- と学校関係者の意見をいただいています。